

写

令和3年12月13日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢市の花・木・鳥選考委員会

委員長 齋藤 平

伊勢市の花・木・鳥について（答申）

伊勢市の花・木・鳥について、本委員会において慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。



伊勢市の花・木・鳥選考委員会選考結果について

1 選考基準の制定について

伊勢市の花・木・鳥選考委員会（以下「委員会」という。）において、先行自治体の基準やシンボル生物に関する学術的調査研究の知見を参照して、次のとおり、選考基準を定めました。

【選考基準】

- 1 市の象徴的な存在やなじみの深い場所と関わるものであること。
- 2 市民に親しまれるものであること。
- 3 市のイメージにふさわしいものであること。

2 市の花について

委員会では、専門的知見を有する委員から示された7種を候補として選考することとしました。

まず、草本（草花）は見つけにくいことから除外するほうがよいとの意見に基づき、木本（樹木）としました。

次に、選考基準2及び3は、いずれの候補種であっても該当することを確認し、特に1の基準に照らしてよりふさわしいものを選ぶと、品種名にも神宮を冠するジングウツツジが最もふさわしいという結論を得ました。

実施したアンケート結果でもジングウツツジが最も多く選ばれており、その理由としては「親しみがあるから」が最大値となっています。

表1 回答数を偏差値で示した分析

年齢	アサギ ツツジ	カサガ リ	マシ ク	シ シ ク	ジ ン グ ウ ツ ツ ジ	チ ヤ ホ ホ ト ト キ ス	ト キ ウ マ シ バ ク	その他
20歳未満	48.1	61.4	43.5	50.2	68.7	42.6	45.4	40.1
20歳代	58.2	52.2	46.3	46.3	70.0	40.4	46.3	40.4
30歳代	55.3	48.5	43.7	43.7	72.8	43.7	45.6	46.6
40歳代	48.4	47.8	43.8	45.1	73.5	43.8	53.1	44.5
50歳代	55.5	46.1	43.0	43.7	71.9	43.0	52.3	44.5
60歳代	59.3	44.6	42.4	44.6	69.5	43.5	53.7	42.4
70歳代	59.4	42.7	40.6	42.7	65.6	49.0	59.4	40.6
80歳以上	43.5	43.5	50.9	50.9	73.0	43.5	43.5	50.9

※ **73.5** は最大値となります。

3 市の木について

委員会では、専門的知見を有する委員から示された選考基準2及び3を満たす7種を候補として選考することとしました。

まず、歴史的な背景を持つサクラがふさわしいという方針案で、委員全員の意見が一致しました。

次に、エドヒガンザクラ（ソメイヨシノ）、オヤネザクラ、ヤマザクラ、ヨコワザクラを含むサクラ全般とする案といずれか1品種に絞る案のいずれかにするかが議論されました。その結果、全国のシンボル生物に関する学術的研究で明らかにされているように、総称を用いると今後の利活用に課題を残すことになることから、サクラのうち、いずれか1品種とするのがよいとの結論に至りました。

実施したアンケート結果では、ヨコワザクラが最大の回答数でしたが、委員会では、20歳未満の回答が全回答数の75.8パーセントを占めていることに注意し、回答数の単純な多寡のみで判断することを避けました。

各年齢層別で見ると、20歳未満、30歳代、40歳代、70歳代、80歳以上でヨコワザクラが、20歳代、60歳代で蓮台寺柿が、50歳代でオヤネザクラが最も多く、年齢層によってばらつきのあることがわかります。

表2 回答数を年齢層別に偏差値で示した分析

年齢	アサマツ	オガタマ	オヤネザ	クヌ	マツ	ヨコワザ	蓮台寺柿	その他
20歳未満	41.8	42.8	49.0	47.0	55.8	71.5	50.7	41.4
20歳代	46.7	41.5	52.0	41.5	46.7	62.4	67.6	41.5
30歳代	43.6	40.7	55.0	46.4	46.4	69.3	57.9	40.7
40歳代	40.7	40.7	58.5	49.6	42.9	64.0	61.8	41.8
50歳代	42.1	40.9	70.4	51.1	44.3	54.5	54.5	42.1
60歳代	46.1	41.6	57.3	50.6	39.4	61.8	64.0	39.4
70歳代	51.4	40.4	59.6	56.8	40.4	65.0	48.6	37.7
80歳以上	52.0	36.3	52.0	52.0	52.0	67.6	52.0	36.3

※ **71.5** は最大値となります。

また、20歳未満とそれ以外の年齢層での偏差値を見ると、20歳以上でヨコワザクラ63.8ポイント、オヤネザクラ61.3ポイントとなっており、サクラの中から選定するという委員会の方針と一致していることがわかります。

表3 20歳未満とそれ以外の年齢層で偏差値を比較した分析

年齢	アサマツ	オガタマ	オヤネザ	クヌ	マツ	ヨコワザ	蓮台寺柿	その他
20歳未満	41.8	42.8	49.0	47.0	55.8	71.5	50.7	41.4
20歳代～80歳以上	43.3	39.9	61.3	49.8	43.0	63.8	59.1	39.9

※ **71.5** は最大値となります。

最後に、選考の基準1に照らして、ヨコワザクラとオヤネザクラのいずれがふさわしいかについて意見交換を行いました。

その中で、市の木は、特定の地域名が付けられている品種は避けたほうがよいのではないかという意見、選考基準1に照らして、市の象徴的な存在と関わ

りがあるものを市の木とするのがよいのではないかという意見等により、国指定史跡旧豊宮崎文庫とも深い関わりがあり、市指定の天然記念物でもあるオヤネザクラを市の木とするのがよいとの結論を得ました。

4 市の鳥について

委員会では、専門的知見を有する委員から示された5種を候補として選考することとしました。

実施したアンケート結果では、メジロが最大の回答数でしたが、木のアンケートと同様、委員会では、20歳未満の回答が全回答数の75.8パーセントを占めていることに注意し、回答数の単純な多寡のみで判断することを避けました。

各年齢層別で見ると、20歳未満、40歳代、80歳以上でメジロが、20歳代でダイサギが、30歳代でセグロセキレイが、50歳代でイソヒヨドリが、60歳代、70歳代でカワセミが最も多く、年齢層によってばらつきのあることがわかります。

表5 回答数を年齢層別に偏差値で示した分析

年齢	イソヒヨドリ	カワセミ	セグロセキレイ	ダイサギ	メジロ	その他
20歳未満	44.9	48.2	50.3	47.9	69.0	39.8
20歳代	48.9	55.7	42.1	62.5	55.7	35.3
30歳代	59.0	44.4	61.1	52.8	48.6	34.0
40歳代	52.5	45.8	54.2	54.2	61.0	32.2
50歳代	66.0	48.5	52.0	48.5	50.3	34.6
60歳代	48.3	58.7	51.7	55.2	55.2	30.9
70歳代	58.5	62.4	50.7	42.8	50.7	35.0
80歳以上	38.9	52.2	52.2	38.9	65.5	52.2

※ **69.0** は最大値となります。

また、20歳未満とそれ以外の年齢層での偏差値を見ると、20歳以上でイソヒヨドリが48.7ポイント、メジロ48.1ポイントとなっています。

表6 20歳未満とそれ以外の年齢層で偏差値を比較した分析

年齢	イソヒヨドリ	カワセミ	セグロセキレイ	ダイサギ	メジロ	その他
20歳未満	45.2	46.7	47.6	46.5	56.1	42.8
20歳代～80歳以上	48.7	47.2	48.0	47.5	48.1	43.1

※ **48.7** は最大値となります。

こうしたことから、委員会では、イソヒヨドリ、セグロセキレイ、メジロから選考することとしました。

まず、子どもたちが保育活動や学習活動で利活用する際、セグロセキレイは白黒の単色となり、色遣いができないことから除外しました。

次に、選考基準2及び3では、最近になって市内の住宅地に多く見られるようになってきたことや鳴き声がよいことではイソヒヨドリが、名前が知られていることではメジロがふさわしいと考えられました。

最後に、選考基準1でどちらがよりふさわしいかという議論がなされました。

日本書紀において、「伊勢の国は、則ち常世の浪の重波（しきなみ）帰（よ）する国なり」とあり、伊勢は伊勢湾に面し、海洋性のイメージを有していることから、沿岸部に生息するイソヒヨドリの生態がこの基準に合致するということになりました。

これらから、イソヒヨドリを市の鳥とするという結論を得ました。

5 まとめ

市の花は、ジングウツツジとします。

市の木は、オヤネザクラとします。

市の鳥は、イソヒヨドリとします。